

## 公共施設カルテ

### 1 基本情報

施設名	勤労青少年ホーム創造の家	所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号	
施設分類	社会教育系施設	所管課	文化スポーツ課	
財産区分	行政財産	延床面積 (m <sup>2</sup> )	926.92	
居住誘導区域	○	防災関連施設	○	
設置根拠	須坂市勤労青少年ホー ム条例	設置の目的・経緯	勤労青少年の保護及び福祉の増 進を図るため	交通アクセス 須坂駅から車で5分
事業内容	講座の開催及び施設の 貸し出し等	貸付の有無	有	
管理運営の状況	指定管理	委託内容	施設の管理運営	
備考 (その他特記事項)				

### 2 建物の状況

階数 (主たる建物)	地上 2階 地下	建築面積		延床面積	926.92
構造 (主たる建物)	集会所 RC造 トイレ W造	建築年度 (主たる建物)	集会所 1979年 トイレ 1991年	築年数 (主たる建物)	集会所 45年 トイレ 33年
取得価格	130,978,880		耐震化の状況	耐震改修済み	
帳簿原価	142,640,780		バリアフリー対応	北側入口にスロープあり、西側正面 玄関なし、トイレあり	
減価償却累計額	142,448,106		省エネルギーの対応状況	一部照明LED化	
老朽化率	99.86%		施設の劣化状況		

### 3 施設コスト

単位（千円）

費用		2022	2023	2024	3年間の平均値
人件費					
委託料					
光熱水費					
維持補修費	391	467	1,982	947	
減価償却費	48	48	48	48	
指定管理料	11,850	12,831	14,273	12,985	
その他	0	881	1,407	763	
費用合計	12,289	14,227	17,710	14,742	

収入	利用料等収入			#DIV/0!
	国庫補助金等収入			#DIV/0!
	その他			#DIV/0!
収入合計	0	0	0	0

収支	-12,289	-14,227	-17,710	-14,742
利用者一人当たりコスト	2.38	2.05	2.24	2.21

修繕履歴	金額	1,628	内容	2011年度 電気引き込み設備工事
		4,799		2011年度 トイレバリアフリー化等改修工事
		1,232		2021年度 軽運動室床面修繕工事
改修履歴	金額		内容	
今後10年間での大規模改修費用				

#### 4 施設利用状況

<b>利用対象</b>	市内の勤労青少年、その他	
<b>開館時間</b>	<b>平日</b>	午前9時から午後10時
	<b>休日</b>	午前9時から午後10時
<b>休館日</b>	日曜、祝日、12月29日から翌年1月3日	
<b>駐車場の有無</b>	有	

	2022	2023	2024	3年間の平均値	平均と2024の比較
<b>年間利用者数</b>	5,166	6,925	7,901	6,664	19%
<b>年間利用可能人数</b>					
<b>利用率</b>					
(参考) 年間目標利用人数	10,000	10,000	10,000	10,000	
<b>2023年度年間利用日数</b>		764	2,912		
<b>2024年度年間利用時間 (7部屋)</b>		1,770	26,845		
<b>稼働率</b>		43%	11%	27%	

## 公共施設評価結果シート

施設名	施設名称	勤労青少年ホーム創造の家
-----	------	--------------

### 1 各評価

#### (1) 経費効率に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価  (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）
	<b>合計</b>	<b>-2</b>	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
3か年の管理運営経費と利用者数による相対的評価  (当該施設の経費÷当該施設の利用人数) (市民利用全施設の経費÷市民利用全施設の利用人数)	A	2	平均と比較してかなり少ない（50%未満）
	B	1	平均と比較して少ない（50%以上100%未満）
	C	0	平均と比較し同規模（100%以上150%未満）
	D	-1	他施設と比較して多い（150%以上200%未満）
	E	-2	他施設と比較してかなり多い（200%以上）

#### (2) 必要性に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
利用者の多様性	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	<b>合計</b>	<b>2</b>	

#### 【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
利用者数	A	2	過去3か年平均と比較して、増えた（10%以上）
	B	1	過去3か年平均と比較して、同等・やや増えた（0%以上）
	C	-1	過去3か年平均と比較して、やや減った（-5%以上）
	D	-2	過去3か年平均と比較して、減った（-10%以上）
利用者の多様性	A	1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されていない
	B	-1	現在の利用者が、特定の人（団体）に限定されている
貸館利用率	A	2	過去3か年平均が50%以上
	B	1	過去3か年平均が20%以上50%未満
	C	-1	過去3か年平均が10%以上20%未満
	D	-2	過去3か年平均が10%未満

(3) 施設老朽度に関する評価

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	C	-1	75%以上100%未満
耐震性能	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
バリアフリー	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	合計	-1	

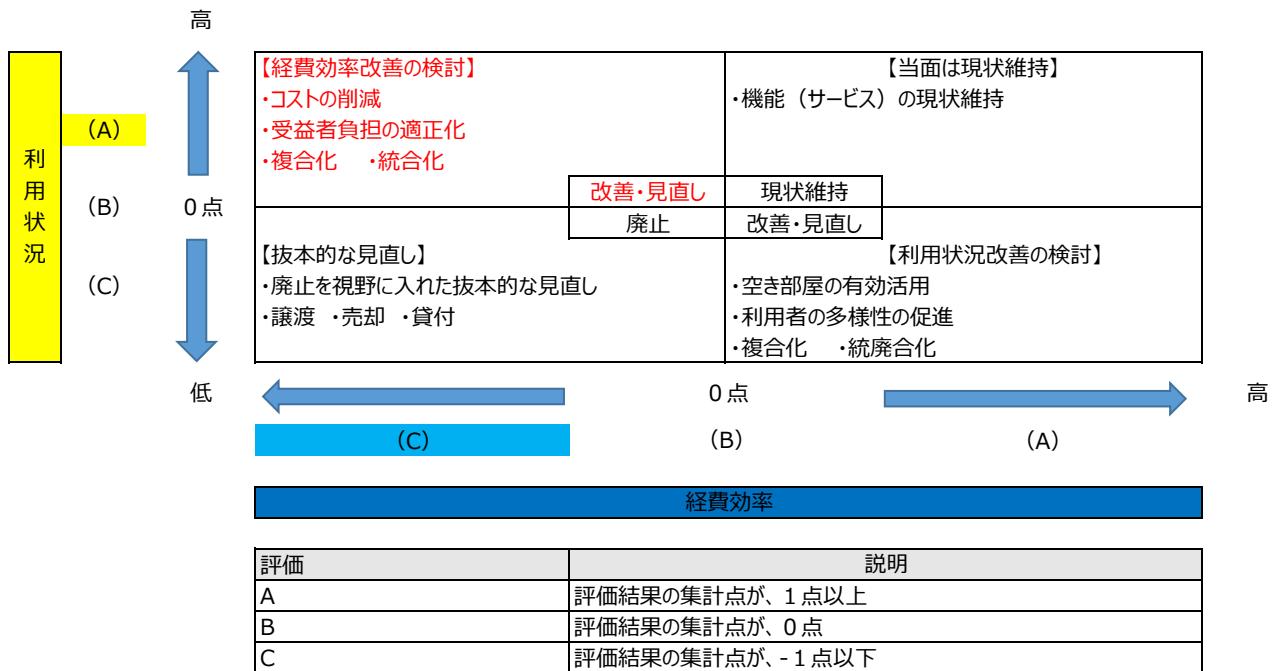
【評価基準】

評価項目	評価	点数	評価基準
老朽化率	A	2	50%未満
	B	1	50%以上75%未満
	C	-1	75%以上100%未満
	D	-2	100%
耐震性能	A	2	新耐震基準施設（昭和57年以降に建設された施設）
	B	2	耐震改修不要（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断の結果耐震改修不要）
	C	2	耐震改修済み（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修済）
	D	-2	耐震診断未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震診断未実施）
	E	-2	耐震改修未実施（昭和56年以前に建設された施設で、耐震改修未実施）
バリアフリー	A	1	バリアフリー新法対応済
	B	-1	バリアフリー新法未対応
これまでの改修履歴（P）	A	2	必要な改修が十分に行われている
	B	1	必要な改修がある程度行われている
	C	-1	必要な改修が十分には行われていない
	D	-2	必要な改修が行われていない

## 2 経費効率と必要性の評価からソフト面における施設の評価します

横軸	経費効率による評価	-2
縦軸	必要性による評価	2
	合計点数	0

【経費効率改善の検討】



## 3 ソフト面における評価と施設の老朽化度（ハード面）の評価から最終的な施設の方向性を導きます

横軸	老朽化度からの評価	-1 横軸
縦軸	必要性と経費効率からの評価	0 縦軸
	合計	-1

【抜本的な見直し】

